

# 中学生海外生活体験記inGUAM



8月17日から25日までの9日間、「伊予市中学生海外派遣事業団」として市内の中学2年生26人がグアムを訪問しました。異文化に触れ、現地の人々と友好を深めたグアムでの体験を派遣生に報告してもらいました。

## 「出国〜グアム入国」

グアムに着いたのは深夜2時を過ぎていましたが、うれしくて全く眠気はありませんでした。入国手続は緊張したけど、身振りや知っている単語を使って、自分の力で答えることができました。井手上 早紀さん(伊予中)

## 「市内見学」

恋人岬やスペイン広場、ラッテストーン公園へ観光に行きました。そして、出発前から気になっていた「コナツジジュース」を飲み、果肉はわさびじょうゆをつけて食べました。食感は一言では言い表すことのできない不思議な感じでした。和田龍一さん(港南中) フルーツワールドへ見学に行きました。日本では見ることのできない果物や植物がたくさんありました。見学後、珍しい果物を食べました。これもおいしく、個性的な味でした。亀岡 美里さん(上灘中)

## 「英語教室(1日目)」

リスニングテストのように、ペラペラと話すタン先生の質問を、耳をタンポにして聞き取りました。授業で習ったことを、最大限に利用し答えましたが、なかなか通じず苦労しました。宇津 博美さん(下灘中)

## 「水泳教室」

オリンピックにグアム代表として出場したタン先生の水泳教室だったのでとても楽しみにしていました。タン先生と会話でき、他の中学校の人とも仲良くなれたのでとても楽しい思い出ができました。矢野 梓さん(港南中) 水泳が苦手なので足の着かないプールにひっくりしましたが、水泳教室の間に少しは上達したかなと思います。新しい友だちがたくさんでき、普段なら味わうことのできないとても良い体験ができました。

## 「英語教室(2日目)」

現地の先生の英語は理解するのが難しかったけど、引率の先生方のアドバイスで少しずつ理解することができました。先生方のようになれるように、英語の勉強がんばろうと思いました。西藤 佑子さん(港南中)

## 「生活体験実習(昼食①)」

グアムブレミアムアウトレットのフードコートで、ハンバーガーを英語で注文しました。希望通りのものができてうれしかったです。岩元 勇樹さん(中山中)

## 「グアム大学訪問」

グアム大学は広い緑の芝生と青い空に南国の太陽が印象的でした。僕が食堂で得意のルービックキューブを披露すると、歓声と同時に拍手に包まれ、10人以上の学生に握手を求められました。尾田 一輝さん(港南中)

## 「チャモロレッジ訪問」

たかさんのお店が並ぶ華やかなマーケットで、いろいろなものを買っていました。夜のマーケットですが、チャモロレッジの辺りは昼のようににぎやかで、輝いていました。山内 梨紗子さん(港南中)

## 「英語教室(3日目)」

「アメリカの教育」と「グアムと日本の季節」について勉強しました。日本に四季があるように、グアムにも雨季と乾季の二つの季節があり、私たちが行った季節は雨季でした。古田 彩佳さん(上灘中)

## 「英語教室(4日目)」

できるだけ完ぺきな英語で、積極的に話す努力をしました。先生方が丁寧に教えてくださったので、自分の英語力を高めることができ、現地の学生との交流のときや、買い物

「グアム研修に参加決定！」  
グアムに行くことが決まった時、思わずガッツポーズをしました。グアムのことを調べてみると、昔の文化や歴史が残り、広大で美しい自然があることが分かり、ますます期待が高まりました。新田 明人さん(港南中)

「生活体験実習(昼食②)」  
英語研修で学習したことを生かせるように、がんばって英文をつかって注文しました。また昼食では、日本とグアムの食文化の違いなども学ぶことができました。

後藤 碧天さん(下灘中)

「現地学生との交流会」  
最初の会話は緊張して、ドキドキしながら話しましたが、だんだん慣れてくると笑顔で話すことができました。何度も繰り返し話すことで、お互いの英語が通じ合えてうれしかったです。菅 菜々美さん(伊予中)

「生活体験実習(買い物)」  
初めてのドルやセントで、どうすれば良いかよく分からなかったけど、慣れてくるとだんだん買い物するのが楽しくなりました。家族や友だちへのお土産を買っていらすべし時間がないので、自分のものは早く買えませんでした。岡 きりらさん(伊予中)

「ビーチでの英語研修」  
私たちの泳いだ海は歩いて遠くまで行くことができたので、付近で魚を観察することができ、水槽では味わえない魚の自然体を直接肌で感じる事ができました。グアムの海で

「自然」という文化を学べたことをうれしく思います。西野 遥香さん(港南中)

「ビーチでの会話の中で、タン先生はグアムの海のすばらしさを話してください、グアムのこと、自分が好きなんだなという印象を受けました。僕も自分の住んでいる伊予市の良さを話せるようになりたいです。稲田 敏貴さん(港南中)

「ひなよならパーティー」  
現地の子と始めに会ったときは仲良くなれるか不安だったけど、さよならパーティーの時には手を振ったり笑顔で話せるようになっていました。この交流のことはずっと忘れません。阿部 瑠里佳さん(伊予中)

「現地学生に積極的に英語で話しかける」  
趣味が同じ読書だということが分かり、とても会話が弾みました。たかさんの友だちや楽しい思い出ができて、この研修のすばらしい締めくくりになりました。峰 松里奈さん(港南中)

「グアム出国〜自宅」  
飛行機に乗っている間ずっと、グアムで出会った人たちのことを考えていました。優しく接してくれたホテルの人、楽しい授業をしてくれた先生、仲良くなったローカルの子…。貴重な経験をさせてくれたみんなに感謝しています。伊崎 茉莉花さん(伊予中)

「グアム研修に参加して 感じたこと・学んだこと」  
この研修で学んだことは、自分から勇気を持って話すことの大切さです。現地の人に慣れない英語で声を掛けるのは緊張しましたが、勇気を持って声を掛けると笑顔で返事をしてくれました。上田 実里さん(港南中)

僕にとってこのグアムでの9日間は、最高の日々でした。またこのようなチャンスがある

れば、ぜひ参加したいという思いで、常夏のグアムを後にしました。戎井 靖智さん(下灘中) 一番の思い出は、ローカルの子どもたちを招いて開いたフェアウェルパーティです。出し物の劇を終えた時、みんなが拍手をしてくれてうれしかったです。言葉以外の交流もあることを知りました。西森 光海さん(中山中)

「グアム研修における研修生たちの成長」  
理事長 浅野 祥代さん

「平成20年度伊予市中学生海外派遣団」の成長ぶりは、目を見張るものでした。「第1回研修会」と「報告会」で、全く様子が違っていたのです。為す事によつて学ぶこのグアムでの研修は、研修生たちの表情や態度、そして心の目まで、大きく変化させたように思います。

初日は、ややおどおどして、聞くことに徹していた研修生たち。しかし、自ら何かを得たいという内なる欲求も、そのときからすでに感じられました。日がたつにつれて、それは静かな闘志となって外に表れるようになり、話したり読んだりする声徐徐に力強くなり、先生方と一体となつていきました。そして、街頭やビーチ等での意欲的な会話や、現地の子ともたちとの交流にも現れるようになり、言葉の習得を通して培った「心」と心の「コミュニケーション」…。これも、この海外体験で得た大きな収穫でした。

家族と離れた異国の地で、毎日朝食から自分で用意したこの7泊9日…。派遣団は、明るく一回り大きく、たくましく成長しました。そして、今後の夢を語るよつになりました。このかけがえのない貴重な経験に同行できたことに感謝し、研修生の皆さんの今後ますますの活躍を、心からお祈りいたします。



(5) 広報いよし

(4) 広報いよし